

令和7年度 東小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

○教育目標 心身ともに健康で、創造力、実践力に富み、自主的精神に満ち、国際社会に貢献できる個性豊かな日本人を育成する。			
○目指す児童像			
なかよく	かしこく	たくましく	がんばる
豊かな心もち 思いやりのある子	自ら考え 進んで学ぶ子	素直で明るく 健康な子	気力をひめ、 精いっぱいがんばる子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「共に学ぶ楽しさ、共に伸びる喜びを味わえる学校～笑顔が輝き笑顔がつながる東小～」 「一人を大切に」「多様性と人権」を学校経営の基盤に、家庭・地域と連携・協働する。
【目指す学校像】 <ul style="list-style-type: none">安全・安心な環境で、活気にあふれ笑顔が輝く学校学ぶ楽しさを大切に、子供と教師が共に育つ学校地域と共に歩み、笑顔につながる学校
【目指す教師像】 <ul style="list-style-type: none">使命感と教育愛にあふれ、ワークライフバランスを図りながら高い指導力をもつ教師子供に寄り添い、共に学び共に伸びる教師子供・保護者・地域から信頼され、チームとして協働する教師

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

<p>(1) 多様な視点から自他のよさを認め生かし合う指導の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">① 基本的な生活習慣の育成② 自他のよさを認め生かし合う集団づくり③ いじめ・不登校等の未然防止と組織的対応④ 情報モラル・デジタルシティズンシップ教育の推進 <p>(2) ICTや特別支援教育の視点を活用し、自ら考え共に学び合う指導の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進③ 読書の量と質を高める活動の充実④ 家庭学習の習慣化 <p>(3) 体力・健康・食育・安全の視点から、心身のたくましさを育む指導の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">① 自ら体力を高めようとする態度や能力の育成② 健康教育の推進③ 食育指導の充実④ 危険予測・回避能力の育成 <p>(4) キャリア教育や総合的な学習の時間、特色ある教育活動を通して、自ら課題を解決しようとする指導の充実に努める。</p> <ul style="list-style-type: none">① 目標に向かって粘り強く努力する機会の充実② 全校で取り組む百人一首の充実③ 教科横断的な資質・能力の育成 <p>(5) 家庭・地域とともに子供を育む教育活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 家庭・地域との連携・協働の推進② 学校や地域への誇りや愛着等を育む活動の推進③ 陽北地域学校園における小中一貫教育の充実 <p>(6) 持続可能な運営体制と教育環境づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 勤務時間の管理と業務の適正化・効率化② 安全で清潔、整理された教育環境の整備③ 教育予算の効果的な活用 <p>【陽北地域学校園教育ビジョン】 学びあい 認めあい 高めあう 陽北地域学校園 ～人と人との豊かなかかわりを通して～ ◎最重点目標：互いのよさを認め合い、共に伸びる喜びを味わえる集団づくり</p>
--

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，小学校学習指導要領等の教育関係諸法令，並びに栃木県教育振興計画及び第2次宇都宮市学校教育推進計画（後期計画），令和6年度指導の重点等に従い，本校の教育目標の達成を期するように編成する。
- (2) 児童の発達段階や各教科等の特性，学習指導要領の趣旨を生かし，教科横断的な視点から知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで自ら学び考えるなど，生きる力を身に付けた児童の育成を目指す。
- (3) 教育活動全体を通して言語活動の充実努めるとともに，効果的なICTの活用を図る。またキャリア教育やSDGsとの関連を図り児童の主体性や協働性を育む。
- (4) 家庭や地域，地域学校園等との連携を図り，それぞれの教育力を生かした教育課程を編成する。
- (5) カリキュラム・マネジメントの視点から，各種調査や振り返り等を活用し，短期・中期的に教育課程に関する評価・改善を行い，教育活動の質の向上と業務の適正化・効率化を図る。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
 - ・児童や保護者，教職員にとって，安心・安全な教育環境，職場環境づくりに努める。
 - 言語活動の充実やICTの活用，教師のファシリテーション力の向上に努める。
 - 特別活動やキャリア教育，地域との連携等を通して児童の主体性や協働性を育む。
- (2) 学習指導
 - ・自分の思いを伝え合い，考えを深めることができる児童の育成
 - 学習の基盤となる態度や習慣の育成と，対話的で深い学びを通じた「思考力・判断力・表現力等の育成」
- (3) 児童生徒指導
 - 互いのよさを認め合い，共に伸びる喜びを味わえる集団づくり
- (4) 健康（体力・保健・食育・安全）
 - 運動に親しもうとする態度や能力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※【達成状況】の欄において「達成した。」は，全ての評価対象者で数値指標を達成している場合。「おおむね達成した。」は，一部の評価対象者の数値が指標を達成していないが，各々の指標に近いもの。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価										
1- (1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上	① 問題意識の醸成を図ったり，授業のめあてを確認・提示したりして，児童が進んで学習に取り組めるように工夫する。 ② 見通しをもって学習や活動を進めさせる工夫や，学びあいの場の設定の工夫をして，積極的に授業に関われるようにする。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr> <tr><td>肯定的割合</td><td>84.6</td><td>94.4</td><td>84.4</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・児童と保護者の肯定的割合は，数値指標に達成していない。 【次年度の方針】 ・児童の実態に応じてペア学習やグループ学習を意識的に取り入れる。		児	教	保	地	肯定的割合	84.6	94.4	84.4	
	児	教	保	地										
肯定的割合	84.6	94.4	84.4											
1- (2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上	① 道徳，学級活動，帰りの会の「ほめほめタイム」などを通して，互いのよさを認め合う心を育てる。 ② 異学年間のふれあいの充実を図るために，学校行事・児童会・キッズタイム等の活動を工夫する。 ③ Q-U（3年生～6年生）及びアンケート（1年生，2年生）をもとに教育相談を実施し児童の考えや悩みを適切に捉え，指導にあたる。	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr> <tr><td>肯定的割合</td><td>87.9</td><td>100</td><td>91.5</td><td>100</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的割合は，数値指標をほぼ達成した。 【次年度の方針】 ・さわやかカード活用の充実や改善を図る。		児	教	保	地	肯定的割合	87.9	100	91.5	100
	児	教	保	地										
肯定的割合	87.9	100	91.5	100										
	A3 児童は，目標に向かってあきらめずに，粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】	① 教科学習や特別活動等の様々な場面で，児童一人一人にめあてを持たせ，指導し，それを評価させたり称賛しあったりさせることで，最後までがんばる心を育て	B	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>児</td><td>教</td><td>保</td><td>地</td></tr> <tr><td>肯定的割合</td><td>85.9</td><td>88.9</td><td>82.7</td><td></td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・児童と保護者の肯定的割合は，数値指標を達成していない。 		児	教	保	地	肯定的割合	85.9	88.9	82.7	
	児	教	保	地										
肯定的割合	85.9	88.9	82.7											

	<p>全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上 ⇒保・児 90%以上</p>	<p>る。 ② 校内百人一首大会・ドッジボール交流会・長なわ跳び大会等の場を活用して、めあてに向かって努力し最後までがんばる心を育てる。 ③ 児童一人一人のがんばりを、保護者に理解してもらえるよう、各種たより、HP等で伝えていく。</p>		<p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。 ・行事の振り返りや感想などを掲示物等で掲示することで互いに認め合い称賛し合えるようにする。 										
1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	<p>A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上</p>	<p>① 「陽北地区一斉食事マナー強化月間」を実施し、食事マナーの意識高揚を図る。 ③ 委員会活動の内容を工夫し、児童が主体的に食事や健康への意識を高められるようにする。 ② 「自分の命は自分で守る」意識をもたせ実践的な各種避難訓練を実施するとともに、地域・保護者と連携した登下校指導を行い、日々安全に気を付けた生活ができるよう指導する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>90.6</td> <td>94.4</td> <td>90.1</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。 		児	教	保	地	肯定的割合	90.6	94.4	90.1	100
	児	教	保	地										
肯定的割合	90.6	94.4	90.1	100										
1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	<p>A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・児 90%以上</p>	<p>① 各クラスで「ほめほめタイム」を行うことで、児童一人一人が互いのよさを認め合えるようにする。 ② 「さわやかカード」のプレゼントや「さわやか東小」の表彰を通して、多様な人や視点によるよさを認め、励まし伸ばしていく。 ③ 「キッズ班（縦割り班）」による清掃や遊びなどを通して、協力しあう心を醸成する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>85.9</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的割合は、数値指標を達成していない。昨年度とほぼ変わらない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さわやかカード活用の充実や改善を図る。 		児	教	保	地	肯定的割合	85.9	100		
	児	教	保	地										
肯定的割合	85.9	100												
2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	<p>A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・児 90%以上</p>	<p>① ALTを効果的に活用し、英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。 ② 外国語担当教諭が中心となって、校内研修を開催し、教職員の資質向上を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>75.8</td> <td>94.4</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的割合は、数値指標を15ポイント下回り達成していない。昨年度より6ポイント低い。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後はさらに英語でのコミュニケーションに親しむ機会の充実を図る。 		児	教	保	地	肯定的割合	75.8	94.4		
	児	教	保	地										
肯定的割合	75.8	94.4												
	<p>A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・児 90%以上 ⇒保 80%以上</p>	<p>① 生活科や社会科、総合的な学習の時間（宇都宮学）等で、身近な地域の良さを踏まえ、市全体の特徴を捉えられるよう学習活動を工夫していく。 ② 全校体制で校内百人一首に取り組み、児童が「校内百人一首大会」や「うつのみや百人一首市民大会」に参加することで、宇都宮市にゆかりの深い百人一首に親しむとともに、日本語の響きやリズムに親しませる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>81.9</td> <td>77.8</td> <td>75.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的割合は、児童・教職員・保護者とも数値指標に達成していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組を継続する。特に、百人一首については本校の大きな特色であるので、その指導と関連させて宇都宮のよさを伝えていく。 		児	教	保	地	肯定的割合	81.9	77.8	75.3	
	児	教	保	地										
肯定的割合	81.9	77.8	75.3											
2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進	<p>A 8 児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上</p>	<p>① 各教科、領域において、パソコンやインターネット等を効果的に活用した授業実践に取り組む。 ② 担任と図書館司書が連携して学習に必要な本を用意したり、調べ学習の場を工夫したりして、児童の学びを深める。 ③ 図書館だよりで児童の読書活動の様子を紹介したり、ファミリー読書を推奨したりして、家庭との</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>80.5</td> <td>94.4</td> <td>86.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童と保護者の肯定的割合は、数値指標を達成していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も積極的にパソコンやインターネット等を学習で効果的に活用する。 		児	教	保	地	肯定的割合	80.5	94.4	86.3	
	児	教	保	地										
肯定的割合	80.5	94.4	86.3											

		<p>連携を図る。</p> <p>④ <u>地域学校園で図書館だよりを発行する。</u></p>												
2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育てる教育の推進	<p>A9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上 ⇒児 85%以上</p>	<p>① わくわくタイムの学習を通し、身近な自分の生活と持続可能な社会との関わりを考えさせるなどして、福祉や環境、異文化交流への関心を高める。</p> <p>② 社会科や理科、環境教育をとおして、水や電気を大切にしたり動植物を思いやりたりする心を育てる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>91.3</td> <td>72.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童の肯定的割合は数値指標を達成したが、教職員の肯定的割合は数値指標を8ポイント下回り達成していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	91.3	72.2		
	児	教	保	地										
肯定的割合	91.3	72.2												
3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 90%以上</p>	<p>① 「ケース会議」や「校内支援委員会」を通して教職員間の情報共有を図るとともに、学級間の情報交換を密にして広く児童理解に努め、組織的に児童の支援に当たる。</p> <p>② 日常的に児童一人一人のニーズや悩みを把握し、必要に応じて関係機関との連携を行うなどして、個に応じた支援を展開する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・支援を必要とする児童が増えている。全学年で、「当たり前」なことの指導を徹底する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合		100		
	児	教	保	地										
肯定的割合		100												
3- (2) いじめ・不登校対策の充実	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上</p>	<p>① 教育活動全体を通して、児童に「いじめは決して許されない」ことを指導する。</p> <p>② 児童の様子への目配り気配りを全教職員で行うとともに、家庭や地域とも連携して実態把握を行い、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める。</p> <p>③ 「いじめゼロ強調月間」(5月・9月)に設け、いじめ根絶に努めるとともに、互いに認め合う心を育てる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>92.6</td> <td>94.4</td> <td>87.9</td> <td>90.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・肯定的割合は、数値指標をほぼ達成した。保護者の肯定的割合は、昨年度と比べて6ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・早期対応、未然防止を徹底する。児童への普段からの声かけを行い、状況の把握に努める。</p> <p>・指導方針、内容の統一</p>		児	教	保	地	肯定的割合	92.6	94.4	87.9	90.9
	児	教	保	地										
肯定的割合	92.6	94.4	87.9	90.9										
	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上</p>	<p>① 児童一人一人が存在感をもち、自己実現の喜びを実感できる学級経営を実践する。</p> <p>② 欠席状況共有シートの作成による、不登校児童・不登校傾向の児童を共有する。</p> <p>③ 担任が児童及び保護者に積極的にかかわり、普段からの信頼関係づくりに努めるとともに、SCMのサポートやSC、市の子ども家庭支援室、いきいきグループ等の関係機関との連携を密に行いながら、個に応じた支援を展開する。</p> <p>④ Q-Uやアンケートをもとに教育相談を実施し、児童の悩みを適切にとらえて指導にあたる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>90.6</td> <td>100</td> <td>95.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指標を達成した。保護者の肯定的割合は、昨年度と比べて8ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の取組を継続する。特に不登校傾向気味の児童については、関係教職員で情報を共有し、早め早めの対応を心がける。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	90.6	100	95.9	
	児	教	保	地										
肯定的割合	90.6	100	95.9											
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上</p>	<p>① 外国人児童生徒が安心して学校生活が送れるように、「日本語指導教師」との連携に努める。</p> <p>② 児童の様子の変化を見逃さず、一人一人の状況に応じた対応・支援に努める。</p> <p>③ 学校教育のあらゆる場面を通して、児童の道徳意識の高揚や人権感覚の醸成を図る。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>94.8</td> <td>100</td> <td>93.2</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指標を達成した。保護者の肯定的割合は、昨年度と比べて5ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	94.8	100	93.2	100
	児	教	保	地										
肯定的割合	94.8	100	93.2	100										
3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化														
4- (1) 教職員の資	<p>A14 教職員は、分かる授業</p>	<p>① 学習指導法の工夫・改善 (IC</p>	B	<p>【達成状況】</p>										

<p>質・能力の向上</p>	<p>や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保 85%以上 ⇒児童 90%以上</p>	<p>T活用・少人数指導・習熟度やTT学習・かがやきルームの活用等)を図り、「分かる・できる・楽しい授業」を推進する。</p> <p>② 朝の学習の時間等において、漢字や計算の小テストやプリントを実施して、児童一人一人の理解度を把握し、個に応じた指導に努め、基礎・基本の定着を図る。</p> <p>③ 主体的・協働的な学びを通して思考力・表現力を育てるために、各教科での指導の在り方について研修を深める。</p>	<table border="1" data-bbox="1058 96 1485 174"> <tr> <td></td> <td>児</td> <td>教</td> <td>保</td> <td>地</td> </tr> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>96.6</td> <td>100</td> <td>85.9</td> <td></td> </tr> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	96.6	100	85.9	
	児	教	保	地									
肯定的割合	96.6	100	85.9										
<p>4-1(2) チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 85%以上</p>	<p>① 学校運営の方向性を明確にし、学校運営上の諸事項について、会議や打ち合わせを通して、全職員の共通理解を図り、全校体制で校務の遂行にあたる。</p> <p>② 日頃より良好な人間関係づくりに努めるとともに、教職員一人一人の能力、得意分野を生かした組織作りに努め、やりがいをもって仕事ができるような環境を整える。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 533 1485 611"> <tr> <td></td> <td>児</td> <td>教</td> <td>保</td> <td>地</td> </tr> <tr> <td>肯定的割合</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合		100		
	児	教	保	地									
肯定的割合		100											
<p>4-1(3) 学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上</p>	<p>① 「働き方改革」を教職員一人一人が意識しながら日々の業務の内容や処理の仕方を精査し、業務の効率化を図っていく。</p> <p>② 学級支援事務員を効果的に活用し、効率的に業務を遂行できるようにしていく。</p> <p>③ 始業時刻を5分早めるなど、日課を変更し、放課後の時間を確保する。また毎週金曜日はB日課とし、学校リフレッシュデーとする。そのうち月一回はNZD(ノー残業デー)とする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 873 1485 952"> <tr> <td></td> <td>児</td> <td>教</td> <td>保</td> <td>地</td> </tr> <tr> <td>肯定的割合</td> <td></td> <td>77.8</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・数値指標を達成していない。</p> <p>【次年度の方針】 ・学級支援事務員を効果的に活用し、業務を効率的に遂行することができた。 ・自動音声応答を勤務時間終了に設定したことにより、業務に集中することができた。 ・積極的にAIを活用し、業務の改善を図る。</p>		児	教	保	地	肯定的割合		77.8		
	児	教	保	地									
肯定的割合		77.8											
<p>5-1(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実</p>	<p>A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・地・児 90%以上 ⇒保 80%以上</p>	<p>① あいさつ運動等の交流活動を推進し、小中教職員の連携を深めるとともに、児童の中学校入学への不安等の解消を図る。</p> <p>② 学力向上、心の教育、健康・体力向上等について小中教職員が協働して系統的な指導を推進できるよう組織、体制を工夫していく。</p> <p>③ 小中連携の具体的な取組内容を、その都度学校だよりやホームページで保護者にわかるよう発信していく。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 1344 1485 1422"> <tr> <td></td> <td>児</td> <td>教</td> <td>保</td> <td>地</td> </tr> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>80.4</td> <td>88.9</td> <td>76.5</td> <td>100</td> </tr> </table> <p>・児童、教職員、保護者の肯定的割合は、数値指標を達成していない。児童の肯定的割合は昨年度を7ポイント、保護者の肯定的割合は昨年度を8ポイント下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・各部会において、小中教職員が協働して系統的な指導を推進した。 ・小中連携の具体的な取組内容を、その都度学校だよりやホームページで保護者にわかるよう発信していく。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	80.4	88.9	76.5	100
	児	教	保	地									
肯定的割合	80.4	88.9	76.5	100									
<p>5-1(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-1(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進</p>	<p>A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上</p>	<p>① 地域協議会との連携・協力を図り、地域人材等を有効活用した学習活動の展開を推進する。</p> <p>② 「防犯パトロール隊」「民児協」「自治会」「育成会」「老人クラブ」等の各団体との連携・協力を推進する。</p> <p>③ 地域の民間企業や公共施設と連携した体験学習や専門家を活用した授業を年間計画に位置付けて実</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 1836 1485 1915"> <tr> <td></td> <td>児</td> <td>教</td> <td>保</td> <td>地</td> </tr> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>90.6</td> <td>100</td> <td>90.5</td> <td>90.9</td> </tr> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度の取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	90.6	100	90.5	90.9
	児	教	保	地									
肯定的割合	90.6	100	90.5	90.9									

		<p>施していく。</p> <p>④ 地域人材等を活用した授業を積極的に公開し、保護者や地域に学校の取組を周知する。</p>												
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	<p>A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地 90%以上</p>	<p>① 日常の安全点検を通して、学校の施設・設備等の安全管理を図る。</p> <p>② メール配信システムを有効に活用し、児童の安全確保に努める。</p> <p>③ 緊急避難時に備え、非常階段や防火扉周辺を整理したり、施設内の危険箇所や異常箇所の修理・改善に迅速に対応したりする。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>/</td> <td>94.4</td> <td>96.2</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指数を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度の取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	/	94.4	96.2	100
	児	教	保	地										
肯定的割合	/	94.4	96.2	100										
6-(2) 学校のデジタル化推進	<p>A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができています。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教 80%以上</p>	<p>① 教職員のための GoogleClassroom を設け、教職員同士の資料提供や情報交換が行いやすいようにする。</p> <p>② パソコン以外のデジタル機器についても積極的に活用できるような環境を整備する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>/</td> <td>94.4</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table> <p>・数値指標を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・今年度も取組を継続する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	/	94.4	/	/
	児	教	保	地										
肯定的割合	/	94.4	/	/										
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	<p>B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 90%以上 ⇒地 85%以上</p>	<p>① <u>陽北中生徒会と連携し、児童会を中心としたあいさつ運動を定期的に実施する。</u></p> <p>② 生活目標に、あいさつに関する具体的なめあてを取り入れ、意識づけを図る。</p> <p>③ あいさつ指導の際、あいさつの仕方や地域の方に対するあいさつについても学校生活全体を通して、継続して指導していく。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>92.6</td> <td>83.3</td> <td>93.8</td> <td>90.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童、保護者、地域の肯定的割合は数値指標を達成したが、教職員の肯定的割合は7ポイント下回り達成していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・教職員が率先してあいさつをする。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	92.6	83.3	93.8	90.9
		児	教	保	地									
肯定的割合	92.6	83.3	93.8	90.9										
<p>B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・地・児 90%以上</p>	<p>① 基本的な学習態度の習慣化を図るため、<u>地域学校園の学習時のきまり「準備・着席・よい返事」の推進を図る。</u></p> <p>② 児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めるため、「ひがしの子のやくそく」の推進を図る。また、教職員間で共通理解を図る。</p> <p>③ 生活目標の確認と振り返りを継続して行い、児童一人一人のきまりやマナーに対する意識を高めていく。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>90.6</td> <td>77.8</td> <td>93.9</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>・児童、保護者、地域の肯定的割合は数値指標を達成したが、教職員の肯定的割合は13ポイント下回り達成していない。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・ひがしの子の10の約束の徹底。</p> <p>・きまりを守らない児童を見逃さず、指導を徹底する。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	90.6	77.8	93.9	100	
	児	教	保	地										
肯定的割合	90.6	77.8	93.9	100										
	<p>B3 児童は進んで運動をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒教・保・児 80%以上</p>	<p>① 体育の始業時に「<u>東校サーキット（補強運動）</u>」を全校体制で取り組む。</p> <p>② 各種検定（水泳・縄跳び）を設定することで、<u>児童一人一人が目標をもって運動できるようにする。</u></p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>81.9</td> <td>94.4</td> <td>85.2</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table> <p>・全ての対象の肯定的割合は、数値指数を達成した。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・他学年と交流することで、サーキットのやり方の周知を図る。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	81.9	94.4	85.2	/
	児	教	保	地										
肯定的割合	81.9	94.4	85.2	/										
	<p>B4 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】</p>	<p>① 宿題や自主学習についての基本的な考え方について教職員で共通理解を図るとともに、学年の発達段階に応じ、家庭学習の内容や量</p>	B	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>児</th> <th>教</th> <th>保</th> <th>地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>63.1</td> <td>/</td> <td>56.1</td> <td>/</td> </tr> </tbody> </table>		児	教	保	地	肯定的割合	63.1	/	56.1	/
	児	教	保	地										
肯定的割合	63.1	/	56.1	/										

	<p>全体アンケート肯定的割合 ⇒保・児 80%以上</p>	<p>について見直す。 ② 学習時間の目安や学習するときの約束事について、年度当初に家庭に知らせるとともに、学級懇談で家庭学習についての情報交換を行うなどして、家庭と協力体制が取れるようにする。 ③ 家庭学習にかかった時間をスタンダードダイアリー等へ記入させたり、自学ノートを展示したりして家庭学習への意欲付けを図る。 ④ 毎月1日を東小ノーゲームデー親子学習デーに位置付け、家庭と連携して習慣づけを図る。 ⑤ <u>地域学校園内で家庭学習強化旬間を設定し、学年だよりで一斉に啓発を図るなどして地域全体で家庭学習の習慣化を図る。</u></p>	<p>・児童、保護者ともに肯定的割合が数値指標を大きく下回り、達成していない。(児童17ポイント、保護者24ポイント) 【次年度の方針】 ・今年度も取り組みを継続するとともに、家庭と協力体制が取れるよう、学校の様子を伝える機会を増やしていき、保護者への一層の啓発を図る。</p>										
	<p>B5 児童は、百人一首に興味をもち、進んで百人一首に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート肯定的割合 ⇒児 80%以上</p>	<p>①校内百人一首大会を充実させるとともに市民大会への参加を促すようにする。 ②百人一首を含めた本市の歴史や文化について学ぶことで、本市の良さについて周知する。</p>	<p>B 【達成状況】</p> <table border="1" data-bbox="1058 734 1485 813"> <tr> <td></td> <td>児</td> <td>教</td> <td>保</td> <td>地</td> </tr> <tr> <td>肯定的割合</td> <td>74.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・児童の肯定的割合は、数値指標を達成していない 【次年度の方針】 ・朝の学習の時間に百人一首に取り組む、他の児童との交流を深めることができた。 ・総合的な時間等に専門家を招くなど、外部機関との連携を図る。その中で、百人一首の歴史や歌の意味などの講話を行い、興味関心を高める。</p>		児	教	保	地	肯定的割合	74.5			
	児	教	保	地									
肯定的割合	74.5												

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

全体アンケートの肯定的割合を市小学校全体の平均と比較すると、児童は対象となる質問項目の17項目中12項目で、教職員は22項目中15項目で、保護者は15項目中14項目で、地域住民は9項目中8項目で、上回るか同程度の数値であった。全評価者のうち、特に低かったのが、A7「宇都宮のよさ」A17「小中一貫」であった。

本校で設定した数値指数を達成したのは、児童が20項目中10項目で、教職員が23項目中17項目で、保護者が17項目中10項目で、地域住民が9項目中9項目であった。また、評価者すべての指標を達成したものは10項目あった。(A2, A4, A10, A11, A12, A13, A14, A18, A19, B3)

このことから本校児童は、「思いやりの心をもっている」「健康や安全に気を付けて生活している」「進んで運動している」について良好な状況と考えられる。また、学校として、「いじめの指導」「不登校を生まない学級経営」「活気があり明るくいきいきとした雰囲気」「学力向上」について良好な状況と考えられる。

本校の特色でもある「百人一首」だが、児童一人一人の取り組み方に差が見られるのが課題である。今後、持続可能な在り方についても検討する。

7 学校関係者評価

- ・他者との協力、思いやりの心の項目での減少が気になる。協力や思いやりが少なくなっていくことは、いじめにつながる可能性があるので注意が必要。
- ・英語を使つてのコミュニケーションについては、日常的な簡単なあいさつや言葉に慣れさせていくとよいのでは。月に1回、または、週に1回でも、英語DAYなどを作って英語を話す機会を設ける。
- ・家庭学習時間については、目標時間というよりはどれだけ集中してできたかによるものが大きい。家庭学習のやり方が分からないようなので、朝の活動にでも宿題の内容を話し合う時間などを確保するとよいと思う。
- ・普段の子供たちの様子を見ると、協調性や人の話を聞く集中力、最後までやり遂げようとする心が足りないように感じる。低学年は、友達に対して言葉が強く、トラブルが起きることがある。
- ・宇都宮市にはいろいろな史跡がたくさんあるので子供たちに知ってほしい。長期休み前に、おすすめの史跡などの資料

を配付したりするとよい。

- ・児童の肯定的割合が全体的に低いのが気になる。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【学校運営全般】

・次年度も「一人を大切にする」及び「多様性と人権を尊重する」を学校経営の基盤に据え、学校・家庭・地域が連携しながら学校教育目標の具現化に向け今年度と同様の方針及び重点目標で学校運営を行う。

【各取組】

- ・目標数値を達成した取組については、次年度も継続するとともに、児童の実態や達成状況に応じて内容を工夫改善し、更なる充実を図る。
 - ・学習指導上の課題として、「自分の考えをもち、表現することができる児童の育成」に継続して取り組んでおり、次年度も、表現力の向上を重点に推進する。
 - ・ICT機器の活用については、AI型個別学習ドリルやオンライン学習等の有効な活用方法を検討するとともに、職員のICT活用研修を行うなど、児童一人一人に個別最適な学びを推進するための環境の充実を図る。
 - ・今後もデジタル・シティズンシップ教育を推進し、デジタル技術の利用を通じて学習効果が得られるようにする。それと同時に、インターネットのプライバシーとセキュリティの問題に関する知識や他者の尊重について学年の発達段階に応じて考えさせていく。また、家庭においてもコンピュータの扱いやSNSの使用について適切な監督と関与が求められることを随時伝えていく。
 - ・本校の特色である「百人一首」の活動では、児童の興味関心が高められるような活動をさらに取り入れていくなど、持続可能な活動として取り組んでいく。
 - ・保護者や地域への情報発信や啓発について、取組に対する認識が不十分な項目が見られたため、有効な方法や内容、時期等を検討し、周知を図る。
- 中学校と連携し、あいさつ運動を展開するとともに、児童が主体的にあいさつできるような児童会活動の活性化を図る。また校内だけでなく、家庭・地域と連携し、あいさつの励行を推進していく。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する取組については、児童に対して、活動内容だけではなく目的や意義等についても十分に説明するとともに、保護者や地域に対して、効果的に情報発信する。